



日本病理学会関東支部会の支部長就任にあたって

日本医科大学大学院
統御機構診断病理学
内藤 善哉

日本病理学会関東支部会は、会員数 1682 名、病理専門医 785 名、口腔病理専門医 46 名を数える、日本病理学会の中で最も大きな規模の支部会であり、二期に亘り支部長として尽力されてこられた、加藤 良平先生のもと確実に発展してまいりました。そして、このように大きな規模の支部会であるため、関東支部会の活動の活性化や支部のあり方自体、種々の意味で日本病理学会に及ぼす影響は多大なものと考えられます。特に支部会員の増加は、病理学会自体の活性化に繋がる重要な課題であり、現在、そのような課題解決に関連した支部活動を積極的に展開しております。その一つとして「病理学サマーセミナー夏の学校」では、若手病理医の育成を目指し、学部学生や研修医への積極的な働きかけを行っており、病理医の生活・仕事や働く姿、職場を体感するとともに、臨床や患者さんの治療に直結する役割を理解するような企画を実践しています。

また、年 4 回開催される支部学術集会、そのうち冬に開催される支部学術集会是東京病理集談会を兼ねますが、それら集会に学部学生や研修医のみならず、病理医を目指す若手医師の参加を促し、病理に興味を抱く契機にしてゆきたいと考えています。さらに関東支部では、支部を構成している各 8 都県の東京都と各県で、ほぼ交互に支部学術集会を開催していますが、学術的な知識習得の場としてのみならず、病理医間の緊密な連携を深め、種々の情報交換を行なえるような学術集会 - 幅広い交流の機会にもなるようにしてゆきたいと思えます。一方、現在、全国的に女性医が増え、女性病理医も多くなっています。関東支部では、病理学会と密接に連携し各支部学術集会などでの育児-託児支援をさらに進め、病理医志望者の増加、女性病理医への支援拡充をはかりたいと考えています。

関東支部の活動を正確に広報する手段として、ホームページの拡充が欠かせないものと考え、現在、ホームページの改修作業を進めています。各支部学術集会の情報掲載とともに各回で検討される症例のヴァーチャルスライドの提示、その他、関東支部会員に有益な種々の情報の発信を企画しており、さらに日本病理学会や他支部の学術集会や講習会の情報や、必要な他学会の情報などもリンク出来るよう進めています。

現在、病理関連の診療報酬の改定、専門医制度の改革など激動の時代ではありますが、少しでも関東支部会活動の活性化をはかり、さらには病理学会の発展のため、病理に関する医療状況の改善のため、微力ですが尽力して参りたいと考えています。

最後に関東支部会会員の皆様方、病理学会会員の皆様方、並びに学会関係者の皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。